

科目責任者 吉田 久博 (薬物体内動態学教室)

■ 教育目的

医薬品に関する種々の情報を適切な情報源から入手するとともに、その情報を専門的な視点から評価、整理、加工したうえで、第三者へ適確に伝達するための基本的な知識と技能を習得する。また、生理機能や血液、尿検査等のデータを解析し、患者の病状を適確に把握できるようになるための基礎的な知識と技能も併せて習得する。

■ 学習到達目標

1. 医薬品に関する種々の情報を適切な情報源から入手することができる。
2. 入手した情報を専門的な視点から評価、整理、加工することができる。
3. 必要な情報を第三者へ適確に伝達することができる。
4. 生理機能や血液、尿検査等の検査データを解析することができる。
5. 患者の病状を適確に把握することができる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：実習書の内容について予習するとともに、各項目について課せられた宿題を行うこと。

復習：実習書に再度目を通し、理解を深める

■ 授業内容

バイタルサインについて理解する

電子化情報源の利用方法について学習する。

臨床検査値を解釈し、適切に評価する。

調剤計算能力を高める。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	事前学習	イントロダクションとグループ討論 Introduction & Small Group Discussion (A / B クラス合同、6 ブロック)	S103, S506, S507
2	事前学習/医薬品情報	バイタルサイン/電子化情報源 Vital Signs/Computerized Databases & Electronic Resources (A / B クラス別日実施、4 ブロック/クラス)	C14(1)-2-11 C15(1)-3-1 ² , 4-1 ³
3	事前学習/医薬品情報	三次資料と Medline 検索 Tertiary References & Medline Search (A / B クラス別日実施、3 ブロック/クラス)	
4	臨床検査	臨床検査値の解釈と評価 I Evaluation of Laboratory Data I (A / B クラス別日実施、4 ブロック/クラス)	
5	臨床検査	臨床検査値の解釈と評価 II とグループ討論 Evaluation of Laboratory Data II & Small Group Discussion (A / B クラス合同、6 ブロック)	
6	医薬品情報	文献評価 I Literature Evaluation I (A / B クラス別日実施、4 ブロック/クラス)	C15(1)-3-3, 5-1 ⁶ , 6-2
7	医薬品情報	文献評価 II とグループ討論 Literature Evaluation II & Small Group Discussion (A / B クラス合同、6 ブロック)	C15(1)-3-3,5-1 ⁶ , 6-1 ² S103
8	医薬品情報	プロフェッショナル・ライティングとグループ討論 Professional Writing & Small Group Discussion (A / B クラス合同、6 ブロック)	C15(1)-3-3 ⁵ , 5-1 ⁶ , 6-1 ²
9	事前学習	調剤計算とグループ討論 Pharmacy Calculations & Small Group Discussion (A / B クラス合同、6 ブロック)	S211, S304, S506, S507
10	総合実習	グループ討論と発表 Small Group Discussion & Presentation (A / B クラス合同、6 ブロック)	C14(1)-1-1, 2-1 ¹¹ C15(1)-3-1 ⁴ , 4-1 ³

■ 授業分担者

吉田 久博 (1-2)、石橋 賢一 (2-5, 7, 10)、伊東 明彦 (6-8, 10)、越前 宏俊 (4, 6)、加賀谷 肇 (9)、庄司 優 (1-5, 8)、植沢 芳広 (1, 5, 7-8, 10)、大野 恵子 (6)、門田 佳子 (1, 4-5, 7-10)、松本 邦洋 (9)、宮沢 伸介 (1, 5, 7-10)、山崎 紀子 (9)、小川 竜一 (1-3, 5-10)

■ 成績評価方法

実習態度 (50%) と課題／レポート (50%) に基づき総合的に評価する

■ 参考書

- 「今日の臨床検査」 (南江堂)
- 「薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント」 (南江堂)
- 「ポケット医薬品集」 (白文社)
- 「治療薬ハンドブック」 (じほう)